

4年間のストックホルム滞在を振り返って

黒田一幸

日本学術振興会ストックホルム研究連絡センター

独立行政法人日本学術振興会（以下学振）のストックホルム研究連絡センターのセンター長として2022年5月より4年間務め今年帰国した。国際学術交流促進を担う当センターのオフィスはカロリンスカ研究所（医科大学）のキャンパス内にある。キャンパスは緑豊かで建物の配置にも余裕があり、ストックホルム市の中心に近く、大変羨ましい環境である。

学振は様々な双方向の国際学術交流プログラムを展開している。それらのプログラムを実行する上で当センターは北欧・バルト諸国の対応機関やイベント開催大学等との事前調整、主催者挨拶や交流プログラム紹介、開催後のフォローなどを進めた。日本化学会会員を含め様々な分野の日本人研究者に講演を依頼しご快諾をいただいたことに、この場を借りて感謝申し上げる。

北欧各国の研究資金配分機関（スウェーデンでは例えばSwedish Research Council, STINT, Vinnova等）や王立科学アカデミー（KVA）、王立工学アカデミー（IVA）等と当センターとの交流があり、日本人研究者を招聘してセミナー開催を推進してきた。現KVA会長のProf. Sven Lidin（Lund大学）と筆者は旧知の仲で、日本大使公邸で開催された私の離任夕食会にも出席下さり深く感謝している。

センターで出会ったスウェーデンの若者

当センターは現地職員としてスウェーデン人を雇用しており、私の在職中入れ替えて計3人の日本語堪能な若者と日々話す機会があった。彼らは日本への留学経験もあり、センターの目的もよく理解し重要な戦力で、今後も日本とより深く関わろうと意欲のある人たちだった。彼らは日本語能力も卓抜であるのみならず文化、言語、思考法など日本に関する関心が高い人物だった。日本の大学のみならず日本の企業での研修経験も有している人もいた。彼らは当センターでの仕事を一生の仕事にしようとは全く思っておらず、日本と深くつながっている組織で新たな経験を積んで今後のキャリア形成に生かしたいと考えている。20歳代後半に入っても様々な職を経験中ということで、日本の若者とかなり考え方が違うようだ。若い時代の進路選択がかなり柔軟である。日本でのワーキングホリデーの年齢制限（30歳）に到達する前に日本で働きたいというのが辞職の理由だった人もいる。個人的経験を一般化することが危ういのは承知だが、若者の職業選択の感覚がスウェーデンでは違うように思われる。スウェーデンでは高校卒業をもって大人の仲間入りをする。しかしその後の進路変更の容易さや先を急がない感覚はスウェーデンらしさがあるように

思われる。日本では学部卒業あるいは大学院修了後に、どの道を選択するにしても、その道まっしぐらとなる日本の若者と異なり、いくつかの経験を踏まえて納得して将来の方向を決めているよう受け取れる。

欧州日本人研究者とキャリア形成

当センターでは北欧を中心として在欧日本人研究者交流会を定期的に開催し、日本人研究者相互のネットワーク形成促進にも注力してきた。ある交流会の折、博士課程院生から日本の企業は海外で大学院を修了した人材をなぜ積極的に採用しないのかと問われた。産学ともに国際化が強く望まれている現在、海外在住研究者のキャリア形成に向けて日本の学界や産業界が通年採用（最近増えてきていると聞いているが）の取り組みをぜひ強めていただきたい。海外で研究経験を積んだ大学院生の優先的な採用面接などを経済界のみならず関連省庁も検討していただきたい。国際的な研究室での研究経験の中で育まれた人材をぜひ日本で育てていただきたい。就職活動で有利になり安心して海外大学院留学やポスドク研究ができる環境を整えることで「内向きの若者」が世界に目を向ける契機となればと思う。

ちなみにスウェーデンでは理工系、医学系等の博士課程進学者は大学と雇用契約（単年度契約で毎年更新）を結び、税金も社会保険料も支払う雇用された研究者である。博士課程進学者数が減少する日本も奨学金ベースでの援助拡大や生活費・研究費支援増強等の動きもあるようだが、さらに一歩踏み込んだ有期雇用の議論が進められることを期待したい。

若い化学徒に向けて

林高史先生の本誌巻頭言¹⁾にもあるように学術研究（所属は産学官を問わない）の世界に身を置く研究者の国際経験、国際ネットワーク形成は極めて重要だ。筆者も同巻頭言²⁾で「科学は世界が舞台」と題して寄稿した。若い方たちにとって日本での就職のルールを外れることを恐れる気持ちもわからないではないが、長い人生における若い大切な時期の悔いのない進路選択を願ってやまない。

1) 林 高史, 化学と工業 2026, 79, 521.

2) 黒田一幸, 化学と工業 2023, 76, 853.



くろだ・かずゆき
早稲田大学 名誉教授
〔研究分野〕無機物質化学
E-mail: kuroda@waseda.jp